

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県北九州市 】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	長尾小学校 5年3クラス 92名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 (学校バザーでの発表会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○パラリンピックの競技者との交流を通して、障害者への理解とパラリンピックの競技に興味をもたせる。 ○パラリンピックの競技について調べ、発表する活動を通して、より多くの人にパラリンピックについて知ってもらおうとともに、工夫して伝える力を育てる。
5 取組内容	①「パラパワーリフティング」の選手の話を知ったり、競技を体験したりする。   ②パラリンピックの歴史や競技について調べ、まとめる。 ③学校バザーで低学年の児童に向けて発表する。  



④「ゴールボール」の選手の話聞く。



⑤講話や体験を通して、人間の強さ・生きがい・仲間・豊かな生活等について考える。

<p>6 主な成果</p>	<p>○学習の導入で「パラパワーリフティング」の選手と触れ合い、話を聞くことで、子どもたちの「障害者」に対するイメージを変えることができた。選手とハイタッチをしたり、講演後に選手に寄り添って話しかけたりする姿がみられた。</p> <p>○「パラリンピックの競技を低学年に向けて紹介する」という場を設けることで、相手意識をもって調べ活動を行うことができた。</p> <p>調べた内容を文字や図を使ってまとめ説明を行った。さらに、実際に低学年児童にも競技を体験してもらうように計画したため、より一層、意欲的に取り組むことができた。</p> <p>○児童が「パラリンピック」に興味をもつことができたと同時に、発表会で他学年の児童に発表することで、「パラリンピック」をさらに広めることができた。</p> <p>○実際にパラリンピックの選手と交流することで、児童の学習意欲を高めることができた。さらに、価値ある交流により児童の学習内容も充実した。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>○パラリンピックの選手との交流</p> <p>○低学年児童への発信(競技体験)</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○発表の際、実際に競技で使っている道具を借りることができればよかった。(競技用車いす等、可能なものは借りた。)</p> <p>○競技について調べる際、それについての資料としての本があまりなく、インターネットに頼らざるを得なかった。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○同様に、パラリンピックの競技について調べ、発表する活動を通して、より多くの人にパラリンピックについて知ってもらう学習を実施する。</p>